

「市場別の移動体通信市場の予測 韓国携帯電話市場の予測～2011～2015年の市場予測～」を販売開始

報道関係者各位

平成23年9月12日
株式会社クロス・マーケティング
(東証マザーズ 3629)

「市場別の移動体通信市場の予測 韓国携帯電話市場の予測～2011～2015年の市場予測～」を販売開始

～韓国キャリア市場は、2010年末基準で人口比100%超の普及率
新規需要よりも新たなサービスの登場に付随した変更需要が中心に～

■■ 要約 ■■

マーケティングリサーチを行う株式会社クロス・マーケティング（代表取締役社長 五十嵐 幹）は、日本・韓国・中国を中心とした携帯通信市場、及び、デジタルコンバージェンス市場専門の調査、コンサルティングを行う株式会社ROA Holdings（代表取締役 李承勲/イ スンフン）が提供する調査レポート「市場別の移動体通信市場の予測 韓国携帯電話市場の予測～2011～2015年の市場予測～」を販売開始しました。

詳細ページ：http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=658

■■ 資料紹介 ■■

ROA Holdingsの分析によると、韓国のキャリア加入件数は2011年12月 末基準で5,257万件と予測されます。現在、韓国キャリア市場は、2010年末基準で人口比100%の普及率を超えており、新規需要よりも新たなサービスの登場に付随した変更需要が中心となっています。2011年以降の年平均成長率は3.3%と、1人が複数台を所有することにより、持続的に上昇するものと推定されます。このような傾向に同調し、2015年の韓国キャリア加入件数は5,977万件になると予測されます。これは、韓国人口全体比で121.6%の普及率に該当する数値になります。本レポートはROA Holdingsが発行する定期レポートで、アジア地域のなかでも主要戦略国家である韓国について移動体通信市場の予測を行ったものです。特にメジャープレイヤーの戦略や事業展開に対する分析及び今後の展望を中心に提供しております。

■■ 資料概要 ■■

市場展望（2011-2015）

ROA Holdingsの分析によると、韓国のキャリア加入件数は2011年12月 末基準で5,257万件と予測される。現在、韓国キャリア市場は、2010年末基準で人口比100%の普及率を超えており、新規需要よりも新たなサービスの登場に付随した変更需要が中心となっている。2011年以降の年平均成長率は3.3%と、1人が複数台を所有することにより、持続的に上昇するものと推定される。このような傾向に同調し、2015年の韓国キャリア加入件数は5,977万件になると予測される。これは、韓国人口全体比で121.6%の普及率に該当する数値である。

2011年キャリア3社のシェアは、2010年と類似した水準のSKテレコム50.5%、KT31.6%、LGU+17.8%と予測されている。

スマートフォン加入件数は、2011年12月 末基準で1,957万件と予測される。多様な端末機の発売とネットワークハイスペック化に後押しされ、スマートフォン加入件数は年平均25.1%の急増傾向が見られる。2015年には1人で2台の携帯やタブレットPCを所有する複数台加入者が加わり、全体加入件数の80.3%に該当する4,800万件に到達するものと予測される。

CDMA 2000 1X/EV-DOサービス加入者のWCDMA(HSPA)及び新規ネットワークへの離脱が続き、2011年から年平均で40.4%減少し、2015年頃には200万件程度のみ留まるものと予測される。WCDMAサービスの場合、持続的に増加するデータトラフィックに対する補強網として4G(LTE、WiBro4G)と同時に成長することで、2013年には全体加入件数が3,613万件と最高潮に達した後、緩やかに減少傾向に転じるものと予測される。

LTEの場合、追加費用が発生することに比較的抵抗感のない少数のアーリーアダプターが使用し始め、LTE-advancedが商用化される2013年ころには1,100万件となり、20%の市場投入率が見られるものと予測される。

長期的な側面から見ると、タブレットPCとスマートフォン使用者の増加で急増するトラフィックに対し、LTE-Advancedのみの新規ネットワークで対処するよりは、Wi-FiゾーンとWiBro網を補完網として同時に使用するものと予測される。

2011年のキャリア3社の全体加入者解約率は2010年より低下し、2.9%になると予想される。スマートフォンセット料金制の影響力で中期的に解約率が低下し、2015年には解約率は2.4%程度になると期待されている。

2011年の全体ARPUは3万6,867ウォンであり、このうちデータARPUは8,873ウォンと見込まれる。一方、韓国キャリア市場が今のような基調を維持する場合、2015年に韓国キャリア市場の全体ARPUは3万2,500ウォンに減少することが見込まれ、このうちデータARPUが1万1,143ウォンを占めると分析される。音声ARPUはmVoIPのような外部代替サービスの脅威と割引料金制の影響で持続的に減少し、2015年には2万1,356ウォンになると予測される。

2011年の韓国キャリア総売上高は49兆8,730億ウォンと予想され、年平均で5.24%成長し、2015年には61兆1,670億ウォン規模の巨大市場へと成長すると予測される。2011年のデータ売上は5兆6,570億ウォン、年平均で10.88%成長し、2015年には8兆5,500億ウォンの規模を形成すると予測される。全売上高比で13.98%、無線売上高比では43.64%を占め、今後も売上に占める比重は増加するものと見られる。

2011年韓国キャリア市場の設備投資額は7兆3,000億ウォン、2015年には3兆640億ウォンと予想される。

マーケットダイナミクス

■調査範囲

本レポートは、ROA HoldingsのForecasting Methodology(予測方法論)により、2011年-2015年の韓国の移動体通信市場におけるイベントやトピックをカテゴリー別にまとめ、キャリアの動向と特色について分析を行いました。また、2010年度から現在までの韓国移動体通信市場の概要と実績の分析を基に、2015年度までの市場予測を行っています。

■調査方法

本レポートは、ROA Holdings独自の予測方法を用い、2011年度から2015年度までの韓国の移動体通信市場の分析・予測を行っています。またこの分析及び予測は移動体通信市場におけるキープレイヤーであるキャリアについての基本調査(Primary&Secondary)と、ROA Holdingsの社内レポートや蓄積されたノウハウに基づいて行われています。

■本レポートの理解を深めるための特徴を紹介

本レポートはROA Holdingsが発行する定期レポートで、アジア地域のなかでもコア戦略国家である韓国について移動体通信市場の予測を行ったものです。特に主要なプレイヤーの戦略や事業展開に対する分析及び今後の展望を中心に提供しております。本レポートにおける将来の市場予測や概況分析は、ROA HoldingsのForecasting Methodology(予測方法論)に基づき作成されております。

以下は発行周期によるマーケットデータとマーケットダイナミクスの詳細です。

1)マーケットデータ (2006年～2015年)

人口動勢(2006年～2015年)

- 人口
- 名目GDP
- 1人当たりの名目GDP
- 消費者物価指数
- 為替レート

移動体通信キャリア別の携帯電話加入件数(2006年～2015年)

- SKテレコム
- KT
- LGU+
- 合計

携帯電話加入者のパッケージ形態(2006年～2015年)

- プリペイド
- ポストペイド

携帯電話の普及率(2006年～2015年)

世帯別及びネットワーク別の携帯電話加入件数(2006年～2015年)

- CDMA IS95A/B
- CDMA1X/EV-D0
- WCDMA/HSDPA/HUSPA
- EV-D0 Rev. A

解約率

ARPU(2006年～2015年)

- 合計ARPU
- 音声及びデータ収入

音声&データ通信別の分析(2006年～2015年)

- 音声加入件数
- 音声ARPU
- 音声収入

データ加入件数

- データARPU
- データ収入

設備投資(2006年～2015年)

- 設備投資合計

ネットワーク

- CDMA IS95A/B
- CDMA1X/EV-D0
- W-CDMA/HSDPA/HUSPA
- EV-D0 Rev. A
- WiBro

非ネットワーク

- IT等

※レポートに記載している図表データは、エクセルでご覧いただけます。

■■ 資料目次 ■■

エグゼクティブサマリー

1 概要

2 移動体通信市場の予測

2-1 2010年のレビュー

2-2 2011年～2015年の韓国携帯電話市場の予測

2-2-1 韓国の携帯電話加入件数及び普及率の予測

2-2-2 韓国の携帯電話スマートフォン加入件数の予測

2-2-3 韓国の携帯電話プリペイド加入件数の予測

2-2-4 韓国のネットワーク技術別の加入件数の予測

2-2-5 韓国の携帯電話解約率の予測

2-2-6 韓国データ通信及び音声ARPU市場

2-2-6-1 韓国のデータ通信及び音声ARPUの予測

2-2-6-2 韓国のデータ通信及び音声総売上の予測

2-2-7 韓国の設備投資額

3 マーケットダイナミクス

3-1 SKテレコム

3-1-1 ネットワーク

3-1-1-1 2012年からLTE設備投資に集中

3-1-1-2 Wi-Fi、フェムトセル等3G補強網投資に集中

3-1-1-3 WiBro加入者の整理開始、縮小予想

3-1-2 プラットフォーム

3-1-2-1 プラットフォーム

3-1-2-2 コンテンツプラットフォーム

3-1-3 コンテンツ

3-1-3-1 Nスクリーン、Hoppinサービス公開

3-1-3-2 11番街モバイルバージョン公開予定

3-1-3-3 おサイフケータイ、「スマートウォレット(smart wallet)」

公開1年

でダウンロード200万件

3-1-4 デバイス

3-1-4-1 iPhone導入

3-1-5 戦略的提携と海外展開

3-1-5-1 海外

3-1-5-2 国内

3-2 KT

3-2-1 ネットワーク

3-2-1-1 3W投資増大(WiBro+Wi-Fi+WCDMA)

3-2-1-2 LTE、2011年商用化の停滞

3-2-2 プラットフォーム

3-2-2-1 コンテンツプラットフォーム

3-2-3 コンテンツ

3-2-3-1 NFC決済サービスOlleh touch

3-2-3-2 B2C、B2Bクラウドコンピューティングサービス

- 3-2-3-3 3G+WiBroセット料金
- 3-2-4 デバイス
 - 3-2-4-1 サムスン電子、GALAXY S2発売
 - 3-2-4-2 国内初のWiBroスマートフォン、HTC EV04G発売
- 3-2-5 戦略的提携と海外展開
 - 3-2-5-1 海外
 - 3-2-5-2 国内
- 3-3 LGU+
 - 3-3-1 ネットワーク
 - 3-3-1-1 LTE網、設備投資集中
 - 3-3-1-2 2.1GHz 周波数確保、中短期競争力強化に力
 - 3-3-1-3 リビジョンB全国網の構築完了
 - 3-3-1-4 Wi-Fiゾーン、2万カ所から年内8万カ所へ
 - 3-3-2 プラットフォーム
 - 3-3-2-1 モバイル広告プラットフォームU+AD
 - 3-3-3 コンテンツ
 - 3-3-3-1 Nスクリーンサービス、U+Shoot&Play
 - 3-3-3-2 キャリア初のSNSサービスWagle公開
 - 3-3-3-3 基本料引き下げとMVNO出現による収益悪化圧迫
 - 3-3-4 デバイス
 - 3-3-4-1 LTE全国網構築後、端末機の受給緩和に
 - 3-3-5 戦略的提携と海外展開
 - 3-3-5-1 M2M、韓国ガス安全公社、安全検針をスマートフォンで

4 結論

5 主要ファクター創出のための方法論及び仮定

■■ 図表目次 ■■

図目次

- [図 2-1]韓国の携帯電話加入件数及び普及率の予測（2011年 - 2015年）
- [図 2-2]韓国の携帯電話スマートフォン加入件数の予測（2011年 - 2015年）
- [図 2-3]韓国の携帯電話プリペイド加入件数の予測（2011年 - 2015年）
- [図 2-4]韓国のネットワーク技術別の加入件数の予測（2011年 - 2015年）
- [図 2-6]韓国のデータ通信及び音声ARPUの予測（2011年 - 2015年）
- [図 2-7]韓国のデータ通信及び音声総売上の予測（2011年 - 2015年）
- [図 2-8]韓国の設備投資額の予測（2011年 - 2015年）

表目次

- [表 2-1]2010年の韓国の移動体通信市場の概要
- [表 3-1]2011年第1四半期 マーケットダイナミクス - SKテレコム
- [表 3-2]2011年第1四半期 マーケットダイナミクス - KT
- [表 3-3]2011年第1四半期 マーケットダイナミクス - LGU+
- [表 4-1]2011年第1四半期 マーケットダイナミクス - ネットワーク

[表 4-2]2011年第1四半期 マーケットダイナミクス - プラットフォーム
[表 4-3]2011年第1四半期 マーケットダイナミクス - コンテンツ
[表 4-4]2011年第1四半期 マーケットダイナミクス - デバイス
[表 4-5]2011年第1四半期 マーケットダイナミクス - 提携&海外展開
[表 4-6]スケール解析

※レポートに記載している図表データは、エクセルでご覧いただけます。

■■ 概要 ■■

資 料 名：市場別の移動体通信市場の予測 韓国携帯電話市場の予測
～2011～2015年の市場予測～

発 刊 日：[2011年09月05日](#)

発 行：株式会社ROA Holdings

調査・制作：株式会社ROA Holdings

販 売：株式会社クロス・マーケティング

判 型：A4/68ページ

価 格：

■製本

189,000 円（税抜180,000円＋消費税9,000円）

■CD-ROM

220,500 円（税抜210,000円＋消費税10,500円）

■製本＋CD-ROM

223,650 円（税抜213,000円＋消費税10,650円）

※送料500円

※カラーコピー

※CD-ROMはPDF（印刷・コピー不可）でのご提供となります。

詳細ページ：http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=658

【お申し込み方法】

上記URLよりお申し込みください。

【お支払い方法】

法人様・・・銀行振込みの後払いとなります。

商品と同封、または別送にて請求書と納品書をお送りいたしますので、振込み期日までに指定口座へお振込みください。

個人様・・・銀行振込みの前払いとなります。

お申し込み後に請求書をお送りいたします。

ご入金が確認されましたから、商品を発送いたします。

■■ 株式会社クロス・マーケティングについて ■■

株式会社クロス・マーケティングは、国内130万人超の大規模モニターを軸に、生活者の「生」の声を、主にインターネットを活用して収集するマーケティングリサーチ会社です。生活者の嗜好の多様化や、商品サイクルの短期化に対応

するため、ネットリサーチの優位性である「スピード」「コスト」に加え、「品質」を最大限に重視したリサーチサービスを展開しています。調査企画から設計、実査、集計・分析レポートまで、マーケティングリサーチに関するあらゆるサービスをトータルにサポートいたします。

■■ 株式会社クロス・マーケティング 会社概要 ■■

名称：株式会社クロス・マーケティング
本社所在地：[東京都中央区銀座8丁目15番2号](#) 銀座COMビル6F
代表者：代表取締役社長 五十嵐 幹
設立：[2003年4月](#)
URL：<http://www.cross-m.co.jp/>

■■ 本件に関するお問い合わせ先 ■■

株式会社クロス・マーケティング
Cross Shop 販売窓口担当
Tel：03-3549-1319
Fax：03-5565-5458
Mail：cs-info@cross-m.co.jp
Facebook：<http://www.facebook.com/pages/Cross-Shop/164004066984033>
twitter：http://twitter.com/cross_CS